

いわせ

第80号
退職校長会
岩瀬支部
発行 須田元大

幼稚園勤務で思うこと

岩瀬支部副支部長 薄井英一



今年度から副支部長を務めております。微力ながら精一杯努めてまいります。

さて、九月下旬に勤務先の幼稚園で運動会を実施しました。園児数わずか十九名のため、全九種目に全園児が参加し、保護者等の参加種目が七種目もありましたが、保護者や来賓など地域の皆様のご理解とご協力により、楽しく充実した時間となりました。

しかしながら、他の施設では様々なトラブルもあるようです。小学校の事例ですが、父親が保護者席にかわいいチワワを連れ込んで抱いていたため声をかけると、「なんでもダメなの。どこにも書いてないよ。邪魔にならないように端にいるし、犬も家族だから」

しかも餌やベッドまで持参しています。子どもたちが「かわいい」と集まり出して収拾がつかなくなり、校長が説得して連れて帰ってもらい、やっと再開したとのこと。

また、少子化の影響か、家庭でも園や学校でも、子どもに手をかけすぎると、成長を阻害しているように思えます。いわゆる「転ばぬ先の杖」を与えすぎるのです。子どもに転ばないように歩きなさいと言うのは間違いです。転んでもいいから自分の意思で歩きなさいと言うべきです。

子ども一人一人には、自身自身の人生があります。一人一人が自らの人生を心豊かに、創造的に主体的に乗り越えていけるよう、自分自身のよさに気付いて、誇りをもつことができる（自分はまんざらでもないと思える）子どもを、家庭・地域と連携・協力して育てていきたいものです。

教育委員会訪問

今年度も二学期がスタートする日である八月二十五日（月）に、須田支部長、阪路副支部長、安田庶務の三名で、須賀川市教育委員会、鏡石町教育委員会、天栄村教育委員会を訪問させていただき、支部長から県退職校長会からの要望書を各教育長にお渡ししました。それぞれ二十分程度の短い時間でしたが、県退職校長会からの要望書をもとに、教育の充実と退職校長会の生活の保障・安定のためにご尽力いただけるようお願いいたしました。公務の大変さご多

様の中、懇談の時間を取っていただき、心より感謝申し上げます。



十七字のふれあい選考会

今年度も退職校長会では県教委主催「ふくしま絆ふれあい支援事業 ふくしまを十七字で奏でよう」に協力しました。県中地区第一次選考会は九月二十四日（水）、郡山合同庁舎第一会議室を会場に郡山地区七名、岩瀬地区五名、石川地区四名、田村地区四名の二十名で行われました。岩瀬地区の選考委員として、古田浩様、内山博行様、本多淳嗣様、関根勝志様、佐藤和則様の五名が参加されました。県中地区では、絆部門が約五千、ふるさと部門に約千九百の応募がありました。また第二次選考会は福島市の飯坂温泉あづま荘を会場に行われ、選考委員として渡邊真二様にご協力いただきました。忙しい中、選考会に参加していただき、本当にありがとうございます。

教育特集

安全・安心な学校づくり

須賀川市立阿武隈小学校 校長 笹島 明 美

今年度耳にするニュースとしたり、遊んだりすることも言え「熊による被害」須賀ままなりません。少しでも体川市内でも熊の目撃情報が増え、外遊びの時間を注ぎたい。阿武隈小学校の学区にも、川も山を十五分に制限し、安全確保もあり「いつか」あるのでに努めています。けれど、子は・・・と考えていましたが、子どもたちの体を動かす機会の減少は、体力低下と肥満傾向の増加につながるのではないかと心配しているところでした。

生活環境の変化でもう一つ。「暑さ対策」があります。東日本大震災後、教室にはエアコンが設置され、暑くても涼しい環境の中で学習をすることができるようになっていいます。けれど、体育や休み時間はどうか。暑さ指数を測定する機器は、ほとんど「厳重注意」か「危険」で、外で活動

教員生活を振り返り

天栄村立大里小学校 校長 兼子 豊 志

今年度末をもって教員生活に幕を閉じます。須賀川市立西袋一小を皮切りに、中畑小、岩井沢小、浅川小、西袋二小、阿武隈小、大屋小（教頭昇任）、柏城小、仁井田小、大里小（校長昇任）と渡り歩いた三十八年間でした。この間は楽しくなければならぬという思いです。勉強をすれば個々の学力差は当然ありま

大切なもの

須賀川市立西袋中学校 校長 面川 祐 哉

校内文化祭を控え、合唱コンクールに向けた歌声が校舎内に響いています。昼休みにもかかわらず、子どもたちは自主的に廊下や多目的ホールなどに集まり、一生懸命声を出しています。

西袋中学校に赴任して約一年半が経ちました。この期間に強く感じることは、西袋中の生徒達の、多方面にわたる活躍です。学習や部活動だけではなく、絵画展、書道展、

管理職になってからは、問題行動の児童・保護者に最前線に対応する機会が増え、ストレスが一気に増加。その頃から髪も少しずつ減ってしました。何とか髪のあるうちに教員生活を終わることができそうでした。（笑）

今後の日本の教育は若い世代にお願いして、自分はいくらでも休ませていただきます。今までご指導くださいました多くの先輩教員の皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

会員の近況

どんな日も
かけがえのない一日

吉田 強栄

令和四年四月一日、いつもと同じように朝五時四十分頃目が覚めた。昨日は、三十三年間の教職生活に終止符を打った日であった。まだ、退職という事実が実感できないでいる自分に苦笑いをした。

退職後は、まず、長い間の単身赴任と多忙にかまけて家庭を顧みなかった猛省から夫婦・家族での旅行を楽しむこと。二つ目は、夫婦で健康増進のため、スポーツジムに通うこと。三つ目は、退職後も社会や人との関わりを絶やさないため、新しい仕事に就くことを目標とした。

退職して早四年目を迎え、達成率は約七割とまずまずの成績である。

世界保健機関の定義では、来年には、私も高齢者の仲間入りとなる。

これからの人生も、『日日

是好日』を旨とし、一日一日を大切に生きていきたいと思う日々である。

実感 健康第一

正木 義輝

長沼幼稚園で二年間、テッテで一年間勤務し、腰痛のため三月末に退職しました。

五月には、秋田県玉川温泉に湯治に出かけ、岩盤浴と日本一の強酸性の湯に浸るのんびりした時間を満喫しました。しかし、七月に腰痛が再発し股関節と膝も痛みだしました。受診結果は「座骨神経痛」。ほとんど横になつて過ごす生活が始まり、三ヶ月が過ぎる頃には体力の衰えを感じるようになっていました。

その頃に整体を紹介してもらい通いはじめると、一ヶ月後には股関節と膝の痛みが無くなり腰痛も和らぎ、前向きに考える気持ちが持てました。三ヶ月間伸び放題の雑草で見るも無惨だった庭の整美を十日程で終えました。

今では、ウォーキングやゴルフを再開し、退職後に考えていた旅行を家内とできるよう励んでいます。健康第一！

いつまでも自分らしく

小貫 崇明

令和五年三月末に退職して同年四月から須賀川市役所こども課の家庭相談員として勤務し今年で三年目になりました。仕事の中身はこどもとその家族の相談・支援で、なかなか一筋縄ではいかないのですが、職場の仲間や関係機関の皆さんのご協力のお陰で何とか元気にやっております。

教員時代も退職後も、心と身体バランスをとるため趣味や息抜きを大切にしてきました。幸運にも私は楽器演奏という趣味に出会い、土日を中心に愛器コントラバスを車に積んで県内を飛び回っています。著名な指揮者のもとで演奏ができた、プロ奏者とともに大編成のオーケストラで壮大な交響曲を演奏したりする経験は、緊張しますが大きな喜びです。またこども達に演奏法を教える機会も多く、将来の音楽仲間を育てる

ことにも力を入れています。これからも、心と身体の健康に気をつけ、明るく自分らしい人生を歩んでいきたいと思っています。

熊騷動

岡田 輝夫

熊の出没が連日報道されています。人間が襲われるケースも増えており、登山を楽しんできた私も、不安を感じています。クマ騷動と体力の衰えから、出かける回数も少なくなつてしまいました。

私のクマ対策は、熊鈴とホイッスル、音の出るおもちゃのピストルです。

登山口でピストルを一発、中腹で一発、山頂で休憩時に一発。途中はホイッスルを吹き、時には大きな独り言、最近の山行は忙しいものになってきました。

友達と会津の山へ行った時のこと下山口から集落への途中、ガサガサという音に振り返ったら近くの木から降り山へ逃げこむ熊を目撃しました。熊の出没を知らせるため、近くの集落の方に熊の目撃を伝えました。すると「ああ、

しょっちゅうだから。」と気にする様子もありません。拍子抜けしました。昨今のクマ騷動、あの時の集落の方はどう思っているのか、聞いてみたいものです。

退職現職校長会 研修会・懇談会 を開催

―五校の県立学校の校長
先生も参加されました―

八月二十二日（金）午後五時三十分から「岩瀬地区退職校長会・現職校長会研修会・懇談会」がグランシア須賀川を会場に開かれました。最初に開会行事が行われ、酒井宏尚小中学校長協議会長から挨拶があり、その後研修会が進められました。研修会は昨年度同様、小グループに分かれて、学校経営等について話し合い、日頃の学校経営で抱えている課題や悩みが出されるところにその解決策について各グループで協議しました。各グループにはファシリテーターがおり、司会進行しながら進められました。十八時三十分からは、懇親会が同じ会

場で開かれ、約七十名の会員の方々が参加されました。今年度は、須賀川創英館高校、須賀川桐陽高校、清陵情報高校、岩瀬農業高校、須賀川特別支援学校の校長先生も参加され、初めて県立学校長五名が揃い、懇親会も大いに盛り上がりました。



子どもの祭典

今年度も子どもの祭典が十月十二日（日）に須賀川市民交流センター（テツテ）と翠ヶ丘公園を会場に開催されました。今回担当したのは、須田支部長、阪路副支部長、薄井副支部長、善方様、安田庶務の五名でした。

退職校長会岩瀬支部は、午前十時から十二時まで一階のたいまつホールで、「作ってあそぼう」というコーナーを開設し、子ども達のために、身近な材料を動かすおもちゃを作成しました。今年度もおもちゃの制作については、阪路副支部長に全面的にお世話になりました。毎年、おもちゃのすばらしいアイディアを出していただき、今年度もおもちゃは「浮き上がり」というおもちゃで、針金とストローを使って土台を作り、大きく息を吹くと発砲スチロールの球が吹き上がるものです。就学前の子どもがうまく球が上がるか心配していましたが、小さな子どもでもうまく上げることができ、とても喜んでいました。たくさんの子も達が大喜びしながら、夢中になっておもちゃをつくっている姿を見るとこちらも笑顔になってきました。六十個くらいの材料を準備しましたが、一時間程度であつという間に材料がなくなってしまう、後から来た子どもたちが残念そうでした。たくさんの子も達が訪れてくれて、対応する

のに一苦労。来年度は、ぜひ協力者を増やしたいと思っています。ご協力いただいた会員の皆様方、本当にありがとうございました。



クラブ活動計画

ゴルフクラブ

十一月四日（火曜日）矢吹ヒルズゴルフクラブにて健康会ゴルフコンペをおこないました。

七月に予定していましたコンペは酷暑（熱中症アラート発令日）でしたのでやむなく中止としました。およそ三ヶ月ぶりのコンペとなります。

当日は十四名の参加で、爽やかな秋風を感じる絶好のゴルフ日和となり、気持ちよくプレーできました。なにより、小松善二郎先生、吉田尊夫先生の元気なプレーを拝見し、皆一様に感心しました。私たち後輩もいつまでもゴルフができるようにしていきたいものだと感謝しました。

○十一月四日 矢吹ヒルズゴルフクラブ

優勝 久保 直紀
準優勝 小松善二郎
三位 東条 正記



八月三十一日には、現職校長との懇親コンペをおこないました。当日はまだ残暑で大変でしたが、全員元気にプレーをすることができました。

グラウンド・ゴルフクラブ

今年度は活動の機会があり

ませんでした。「いつでも、どこでも、だれとでもできるスポーツ」として準備やルールも簡単で、高齢者の体力づくりにも最適なスポーツだと思います。新入会員の参加や飛び入り参加も大歓迎です。来年度、ぜひ多数のご参加をお待ちしております。

お悔やみ
申し上げます

故 鈴木 雄一氏

（享年九十八歳）

令和七年八月二十日ご逝去
元福島県立長沼高等学校校長

あとがき

令和七年も師走を迎えました。

第八十号の発行にあたり、御多用の中、原稿をお寄せくださいました皆様方に心より御礼申し上げます。

寒さ厳しき折、御自愛いただき、新しい年が、すべての皆様にとって幸多きものとなりますよう御祈念いたします。